



## 伊藤 博文 (いとう ひろぶみ)

天保12年(1841年)～明治42年(1909年)



### 人物紹介

〈諱〉 博文、義詮、正光、博詢 〈字〉 子簡、無徳  
りすけ りすけ りすけ しゅんすけ しゅんすけ しゅんすけ しゅんすけ  
 〈通称〉 利介、利助、利輔、瞬輔、俊輔、春輔、俊介  
しゅんぼ しゅん しゅんせい うせい へいきゅう そうろうかく  
 〈号〉 春畝、舜、春生、宇生、斃休、滄浪閣主人  
 〈変名〉 越智斧太郎、デボナー、花山春太郎、吉村莊蔵、林宇一

天保12年(1841年)、農民、林十蔵はやしじゅうざう(重蔵)の長男として熊毛郡東荷村つかり(現・光市)に生まれた。9歳のとき萩に移住、14歳のとき一家が下級武士である伊藤家を継いだため、伊藤姓を名乗った。来原良蔵くりはらりょうざうや吉田松陰よしだしょういんに師事、文久3年(1863年)に井上馨いのうえかおるらとともにイギリスへ密航留学するが、翌元治元年(1864年)に下関戦争の報を聞いて急遽帰国し、その戦後処理に奔走するなど、対外交渉役として活躍した。

維新後、新政府に出仕、慶応4年(1868年)5月に兵庫県の初代知事となった。明治4年(1871年)には岩倉使節団の副使として欧米12カ国を視察。明治11年(1878年)、暗殺された大久保利通おおくぼとしみちの跡を継いで内務卿となった。明治15年(1882年)、憲法調査のため渡欧、帰国後の明治18年(1885年)には初代総理大臣となり、その後も3回総理を務めた。また、伊藤が作成した草案に基づき、明治22年(1889年)に大日本帝国憲法が公布された。

明治28年(1895年)、陸奥宗光むつむねみつとともに全権として日清戦争講和をまとめ、明治33年(1900年)には政党、立憲政友会を結成した。日露戦争後の明治38年(1905年)、事実上の保護国となった韓国に初代統監として赴任、明治42年(1909年)、中国北部のハルビン駅頭で韓国人安重根アンジュンゴンに暗殺された。享年69歳。



### 資料紹介 県立図書館所蔵の伊藤に関する本



### 伝記 ※ [ ] 内は県立図書館の請求記号

- 『伊藤博文伝 上・中・下』 春畝公追頌会 編 原書房 2004 [Y289/I 89]  
 昭和15年(1940年)、伊藤の生誕百年を記念して刊行された伝記の復刻版。戦前の資料のため読みにくいのが、伊藤家に残された文書など、多くの史料を引用しながら伊藤の生涯を詳細に記述している。下巻に年表形式の「伊藤博文履歴」あり。
- 『伊藤博文』 伊藤之雄 [著] 講談社 2015 [Y289/I 89]  
 平成21年(2009年)に刊行された評伝の文庫版。主として書簡や日記などの一次資料に基づき、「剛凌強直」(強く厳しく正直)な人物としての伊藤を描く。主要参考文献、人名索引あり。

- 『伊藤博文直話』 伊藤博文 [述] 新人物往来社 2010 [Y289/I 89]  
昭和2年(1927年)刊行の『伊藤公全集』第3巻に含まれる、伊藤の「直話(談話のこと)」を抜き出して本にしたもの。伊藤からみた人物評や当事者ならではの実歴譚などが収録されている。
- 『月刊・松下村塾 Vol.9 吉田松陰と伊藤博文』 月刊松下村塾編集部 編 山口産業 2005 [Y289/Y 86/N 4]  
伊藤と、吉田松陰や井上馨など他の長州ファイブとの関わりに焦点を当て、カラー写真を多用して紹介した資料。年表あり。



## 史料

- 『伊藤公全集 第1-3巻』 小松緑 編輯 伊藤公全集刊行会 1927-1928 [Y289/I 89]  
伊藤の文書、書簡、演説、書などの一部を選びすぐって収録した資料。第1巻は、文書、書簡、書など、第2巻は演説、第3巻は伝記、直話、逸話などからなる。目次あり。館内利用資料。
- 『伊藤博文関係文書 1-9』 伊藤博文関係文書研究会 編 塙書房 1973-1980 [R210.6/K 3]  
伊藤あてに出された書簡を幅広く収録し翻刻した資料。書簡は発信者ごとにまとめられ、年月日順に収録されている。目次あり。9巻に、全巻を対象とした人名索引あり。館内利用資料。
- 『伊藤博文文書 [1] 全127巻』 『同2 全14巻』 伊藤博文文書研究会 監修 ゆまに書房 2007-2016 [R210.6/N 7]  
伊藤の手記などを項目ごとに分類してまとめた『秘書類纂』等を影印刊行したもの。解題あり。館内利用資料。一部の巻には活字版(原書房 1970-1980 [R210.6/K 0])がある。  
他の史料として、『伊藤博文秘録 [正]・続』(平塚篤 編 原書房 1982 [R210.6/L 2])、『滄浪閣残筆』(伊藤博文 著 マツノ書店 2012 [Y289/I 89])などがある。



## ウェブサイトなど (最終確認日:2021年3月31日)

- 光市ウェブサイト：伊藤公資料館ご案内  
<https://www.city.hikari.lg.jp/soshiki/9/bunka/bunkashinkou/1/3365.html>  
光市東荷にある伊藤公資料館を紹介したウェブページ。館内案内や所蔵品の紹介等がある。
- リサーチ・ナビ 伊藤博文関係文書(その1)(その2)(MF:個人蔵)  
<https://rnavi.ndl.go.jp/kensei/entry/itouhirobumi1.php>  
<https://rnavi.ndl.go.jp/kensei/entry/itouhirobumi2.php>  
<https://rnavi.ndl.go.jp/kensei/entry/itouhirobumi3.php>  
国立国会図書館の憲政資料室で所蔵している伊藤関係の資料のリスト等がある。うち、「(その1)」については、デジタル化された画像を見ることができ、目録からリンクが張られている。

山口県立図書館は明治維新資料の収集に努めています

山口県立山口図書館 総合サービスグループ  
TEL: 083-924-2114 (調査・相談)  
FAX: 083-932-2817  
ホームページ: <http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/>

このほかにも関連資料がありますので、詳しくはお問い合わせください。

作成日: 令和3(2021)年3月31日